参考資料 「地域少子化対策強化交付金」 活用事例

地域少子化対策強化計画交付金 交付概要(三重県分)

事業一覧

(単位:千円)

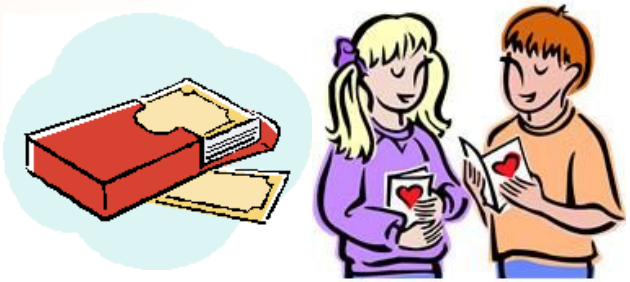
項目	事業名	事業費	うち交付金申請額
1 結婚･妊娠･出産･育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築	少子化対策県民運動等推進事業	5,670	5,670
	みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業	3,000	3,000
2 結婚に向けた情報提供等	みえの出逢い支援事業(コーディネートスキル研修、コミュニケーションワークショップ経費等分)	9,043	4,176
3 妊娠･出産に関する情報提供	思春期ライフプラン教育事業	932	0
	思春期ライフプラン教育啓発事業	5,849	5,849
	マタニティ･ハラスメントのない職場づくり事業	1,906	1,588
4 結婚･妊娠･出産･育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備	母子保健支援者育成事業	4,848	4,848
	健やか親子支援事業(周産期からの支援ネットワーク事業)	224	224
	男性の育児参画推進事業	1,718	0
	男性の育児参画普及啓発事業	5,425	5,425
	少子化対策総合ウェブサイト構築事業	8,426	8,426
合計		47,041	39,206

「みえの育児男子プロジェクト」

地域少子化対策強化交付金事業（例）

みえの出逢い支援事業

人生のパートナーとの出会いを望む人への支援



1　楽しみながら参加者の性格や嗜好を知ることができる
三重県オリジナルのコミュニケーション･ツールを作成･普及。

2　結婚を望む人の意識改革、スキルアップ

①恋するワークショップ
結婚を望む人を中心に、結婚のすばらしさや家族をもつことの意義など、自らが考えるワークショップを開催。

②婚活者のスキルアップ講座の開催
結婚を希望する方のコミュニケーション能力や身だしなみ等のスキルアップに向けたセミナー等を開催。

③意識改革に向けたキャンペーンの実施
家族を持つことの意義や県の結婚支援の取り組みにかかるポスターやちらしも作成･配付。

結婚支援に取り組む市町等への支援

1　アドバイザーの派遣

2　コーディネートスキルアップ研修の実施

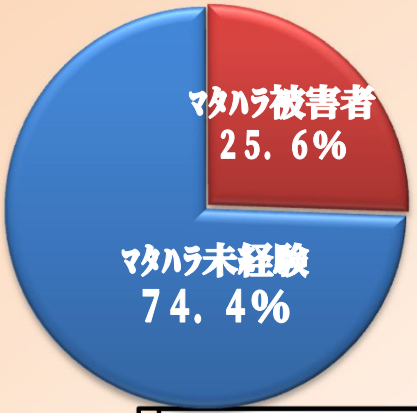
【県単独事業】

みえの出逢いサポートセンター（仮称）

市町や商工会議所等の取組情報の一元的提供、出逢いの場を創出する主体の自主的な活動を支援する仕組みづくり

地域少子化対策強化交付金事業（例）

マタニティ・ハラスメントのない職場づくり事業



働く女性が安心して妊娠・出産し、男女で子育てしながら仕事を継続し活躍できるよう、企業に対してマタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントの防止と支援制度の整備、支援制度を利用しやすい職場風土の醸成を促すとともに、女性の働き続ける意欲を支援します。

4人に1人がマタハラ被害者

マタハラ被害者のうちの68％は労働基準法などの法令違反のマタハラを受けている

制度の整備、運用の促進	制度利用しやすい職場風土づくり	働く女性の意欲の支援

トップセミナー

○企業の経営者、幹部等を対象に講演、先進企業の事例紹介

- マタハラ、パタハラ防止意識の向上
- 男女が共に子育て参画できる職場環境づくりへの理解促進
- 制度の整備と適切な運用促進

風土づくり支援

○企業の研修会等への講師派遣

- 妊娠や出産に対する従業員の理解の促進
- 制度が利用しやすくなるお互いさまの職場風土の形成
- マタハラ、パタハラ防止意識の向上

働く女性支援

○先輩ママを交え、妊娠、出産後の働き方を語る女子会を開催

- 妊娠、出産、育児休業等の関係法令や支援制度の知識、就業継続のための情報の提供
- ロールモデルからの学び、参加者間の語り合いによる意欲向上

マタハラ、パタハラのない安心して妊娠、出産・育児ができる職場を実現